戸建て住宅と持続可能な地域形成

講師: Yann Nussaume (ヤン ニュソム)

パリラ・ヴィレット建築大学校

建築·風土·風景研究室代表者 (現在) 教員 (1997~)



日時: 2014年1月28日(火)

18:15 ~ 19:30 講演会

※講演は英語で行われます

19:40 ~ 20:40 懇親会

場所: 人環棟 433演習室

現在に至るまで形成されてきた戸建て住宅とその地域が持続可能な発展をとげるためには、生活手法と分離して考えることはできません。このことは、とりわけ、建造物の立地密度と関連があります。なぜならば、住宅が散在して立地すると、資源の浪費、大気汚染、温室効果を招くためです。近年、住宅の「本質」論議とは別に、地域と共生することを目指した議論が展開しています。具体的には密度管理、場所への居住(地理、自然要素、緑地と水系、エネルギー開発の考慮)、近隣外部(庭、駐車場、垣、入り口)の管理、その他の外部(街路とアクセス、音、公共緑地、共有の高度…)など多様な側面が考慮されています。

本講演では、建築に関する規制強化は戸建て住宅と居住方法の画一化を招くのではないかという問題提起を行い、日仏で提案された解決策を概観します。

人間・環境学研究科の客員准教授によるセミナーです。専門の異なる院生・教員の皆さんも奮ってご参加ください。 懇親会のみの参加も歓迎します。

主催:人環国際交流委員会 問い合わせ: 国際交流委員・留学アドバイザー

藤田 fujita.itoko.7c@kyoto-u.ac.jp